



日本共産党高島市議団
森脇 徹 議員

農業政策における 就農への支援の あり方について

問 コロナ禍で米価下落。農家に
展望を示し、就農青年に支援
拡充が必要では

答 県やJA等のサポート体制があり、国の農
業次世代投資資金の活用もあるため、市の拡
充策は考えていません。

問 コロナ禍で米価が連続下落。
農業を担う就農青年の支援策
拡充を。

答 市長

新規就農者には、県やJA
等のサポート体制を構築し、
経営技術や資金、農地確保へ
の支援を行っています。経営
開始から5年後の自立へ向け、
国の農業次世代人材投資資金
を活用し就農定着と経営発展
を進めており、支援拡充は考
えていません。



問 新旭町藁園地先での大
規模イチゴ園事業補助金
4億4千万円を予算可決した
が、国は「不採択」。議会に
報告がないが。

答 市長

多数の申請がある中で当該
法人は次点となり、再度エント
リーをしたとのこと意向です。議
会には、補助金の採択経過の報
告はこれまでからしていません。

問 報告がないので情報公開請求
したところ、来年度もエントリー
することがわかった。県は大規
模ハウスを見直すことを指導し
ているが、克服できての申請か。
議会としても議論に関わる必要
がある。

答 市長

事業者の計画内容に市がす

べて責任を持つものではない
ません。国や県と意見をすり
合わせた上で行っているものと
考えています。

問 大規模イチゴ園は38棟で、その
内の2割をもぎ取り観光イチゴ園
にする計画だが、市内12イチゴ農
家のハウス50a分に匹敵するもの
だ。イチゴ狩りに来る方は、道の
駅のイチゴを買わず競合する。話
し合いが必要ではないか。

答 市長

今年3月の予算委員会でも担
当部局から市内生産農家とは
競合しない旨の答弁をしていま
す。既存事業者との競合の懸念
はわからなくはありませんが、
市が調整する立場にはなく、事
業者判断で経営改革や努力を
されるべきものと考えています。

**新型コロナデルタ株に立ち
向かう医療保健体制充実を**

問 市内の自宅療養者は全員が
医療管理下のもと、安心できる
自宅療養体制がとれているか。

答 市長

保健所では、市医師会の協
力により診療や薬剤の処方な
どの対応をし、健康観察や相
談業務等の一部を訪問看護に
委託するなど、自宅で安心し
て療養できる体制を整えられ
ています。

問 感染された妊産婦の受け入
れや、両親が陽性で子が陰性
の場合の病院措置は可能か。

答 病院事業管理者

妊産婦に限らず、県の要請
により可能な限り陽性患者を
受け入れています。また、家
族感染によりご家庭でお子さ
んを見られない状況となった
場合は、症状により同室での
入院などを行っています。

その他の質問

○「百年の森高島」を次代に引
き継げる林業政策を